

「新井」開削350年記念特別展

「水のめぐみ」より

⑧「淡山疏水」について



▲ここから水が公平に分けられた

『淡山疏水』が印南野台地全体を拓いたといわれています。では「淡山疏水」とはどのような疏水でしょう。答えは、淡河川疏水の「淡」と、山田川疏水の「山」を重ねた2つの疏水の略称です。

明治時代、それまでの綿が、明治維新後の値段の暴落で栽培はできず、さらに、地租改正などにより、水田化への願いが大きくなったといわれています。そこで、全長26・3キロメートルの淡河川疏水が1891年、魚住完治氏の願いをもとに、できました。

山田川疏水は、再び用水の不足が起これ、次に山田川からの疏水計画ができました。結果、1915年に山田川疏水10・75キロメートルが竣工しました。

【お詫びと訂正】10月号掲載の逆サイホンの図の中で、「野添側」と表記すべきところを、誤って「野添川」と記載してしまいました。お詫びして訂正します。（郷土資料館）



このコーナーに登場してくださる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画グループ

播磨くらぶ

代表 扇谷一徳さん

活動（結成）のきっかけは？

自分の娘がバレーボールをやりはじめたから。最初は、地区の子ども会の活動として、現在はジュニアバレーボールの指導をしています。

グループのメンバー構成の特徴

播磨小学校、播磨南小学校の女子生徒（1〜6年生）

活動の内容（練習・試合・発表など）

東播小学生バレーボール連盟に所属し、連盟の公式戦のほか、招待試合練習試合など



▲バレーボール大好きです

グループのモットーは？（目指しているものなど）

最後まであきらめずにバレーボールを追いかけよう！！

ユニークなエピソード（最近の話題）など

バレーボール部員の中に、ダンスチーム、きららに入って、踊るバレエをやっている人がたまたま入部したとき、体の固い子どもが多いので、みんなで体を柔らかくしてから、バレーボールをやるうと、体やわらか運動を指導してもらった。おかげで、けがも少なくなつて、チームもまとまった。

▲力をあわせてがんばります

